

# 4玉会議員 教団側へ支出

## 21年政治資金報告 自民3人 維新1人

していと」説明した。  
自民党による教団側との接点に関する「点検」で、中川氏と石橋氏は「関連団体の会合への出席」などがあつたとして名前が公表されていた。

(畠原太郎、東郷謙、柴田義金)

ほかに、維新の伊東信久衆院議員(大阪19区)が代表を務める政党支部が「世界平和女性連合大阪第19連合会」への「会費」3万6200円を支出していた。

2021年分の政治資金収支報告書で、少なくとも4人の国會議員の関係政治団体に「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)の友好団体などへの支出が確認された。自民党が3人、日本維新の会が1人だった。

21年に現職だった国會議員の関係政治団体は約2千ある。総務省と都道府県の選挙管理委員会が11月30日までに公表した収支報告書で、教団と関連のある団体との収支の記載について朝日新聞が調べた。

復興相の秋葉賢也衆院議員は、教団とは別団体と認識してい

る。元農林水産政務官で自民の中川郁子衆院議員(比例北海道)の関係政治団体「中川ゆうこ千勝連合後援会」は21年7月、教団の友好団体とみられる「世界平和連合・城県連合会」に「会費」2万4千円を支出していた。

秋葉氏は、教団関連の月刊誌「世界思想」の1年分の購読料と説明。野党は国会で月刊誌は「1冊800円」で年間額と一致しないと指摘したが、秋葉氏は「あくまで雑誌の購読料としてお付き合い下さい」というふうに聞いている」と説明している。

自民の石橋林太郎衆院議員(比例中国)が代表の「石橋林太郎後援会」は21年12月、「国際勝共連合広島県本部」に「年間購読料」1万1280円を支出。石橋氏の事務所は取材入額の記載はない。

## 記載されてない例も

教団側との資金のやりとりが明らかになつていながら、収支報告書に記載されていかない例もある。

たとえば、前文部科学相の末松信介参院議員(自由民、兵庫)は、教団の関連団体の会員男性に20、21年に2万円のパートナー券計4枚を購入してもらったことが明らかになっている。

しかし、関係政治団体の収支報告書に男性の氏名や購入額の記載はない。

こうした公開基準をめぐつては、名前を伏せたい企業や団体などにとっての「抜け道」になつていると、制度改正が必要だと指摘がある。